

## 八王子の併任配置について (都教組大会で山本様より)

八王子市では、今年度より、八王子市の職員でありながら、東京都から給料をもらい、学校で事務職員として仕事をするという制度が導入されました。これは都教委が各区市に呼びかけて実施された制度で、併任配置といいます。都と市の両方が合わさって職員を配置するというような意味です。今年度、八王子市で2名が配置されています。制度の導入にあたって都教委の呼びかけに応じて手を挙げたのが、今年度は八王子市だけだったということです。

この動きが明らかになったのは、今年の2月末で、市教委から市職員組合へ提案された中味から、私たちも知ったことでした。

私たち事務職員も話をきいた段階では、疑問だらけでしたので、事務職員会を通じて、市教委へ質問しました。

併任配置の職員も都費事務職員の定数に数えられますから、人事異動にも当然からみます。福利厚生はどうなるのか、対象となる人たちは都教組の組合員にもなれるのかなど、数々の疑問が浮かびました。結論から言うと福利厚生は市職員の制度のまま、組合も市職員組合のままです。

ではねらいは何か、市として一番のメリットは人件費を浮かせることができるということです。また八王子市では今年度もあらたに小中一貫校が作られましたが、併任配置の2名のうち1名は、この新しい一貫校の中学校の事務職員として配置されました。そして事務室は一貫校として小中合わせて一つですので、いままでいらした小学校の都費事務職員1名はそのまま、小中両方に配置されていた市費臨時職員が1名減らされ残り1名に、それに併任配置の事務職員を加えて事務職員3名の事務室ということになります。つまり小中一貫校になったことにより事務室が一つ減り、職員も1名減らされたことになります。(ウラにつく)



# 退職者を 囲む会

6月25日 大会のあと

都教委事務局職員部の発展のために  
急がれた先輩方が退職されます。

毎年「退職者を囲む会」を定期大会のあと  
に用いています。今年も6月25日(金)  
5時半より 市谷駅近郊の「素材屋」を会  
場にて行ないます。

現在のところ参加予定の退職者は下記のと  
おりです。

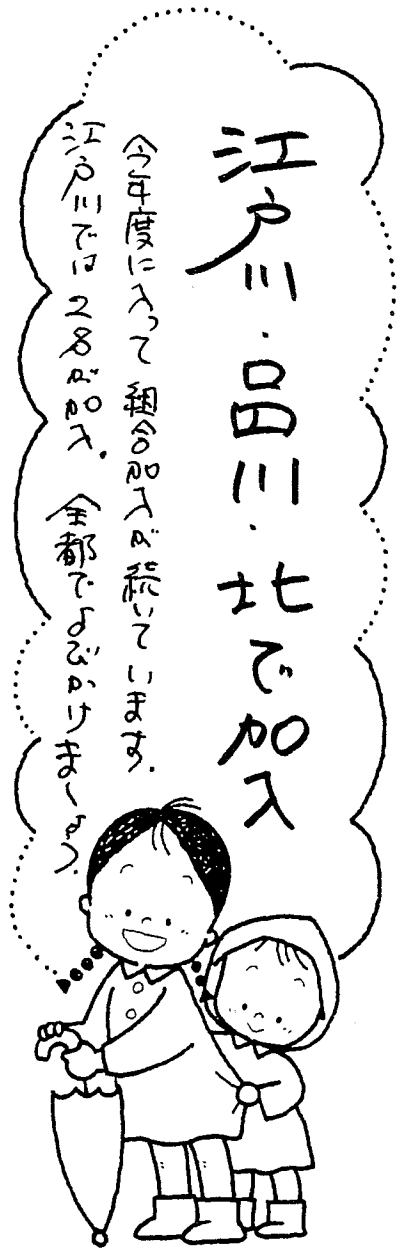
村上さん(足立) 金澤さん(目黒) 青木さん  
本牟さん(板橋) 木村野さん(練馬)  
中村さん(南多摩) 浅野さん(八王子)

※毎回ステキなお話が聞けます。今年も参加  
申込 OKです。

(オモテオリツク)

併任配置という制度は、小中一貫校を作る際に、都合よく事務職員を減らすのに、  
よくマッチした制度だと言えます。八王子市が都教委の呼びかけにすぐ飛びついたの  
は、このような背景もあつたのではないのでしょうか。

もう一つは、まったく学校での経験がない再任用職員が、いま他部局から次々と異  
動してくることで、事務室の機能がスムーズにまわらなくなっているという問題が、  
遠因となっています。市教委としては、仕事になれていない他部局からの再任用職員  
を、これ以上増やしたくないという気持ちでいます。もちろんこの問題は、学校に着  
任された再任用職員の方自身にとっても、「こんなはずではなかった」と思うような気  
の毒な話です。東京都では行財政改革実行プログラムの中で、学校事務職員としての  
再任用職員の活用拡大をうたっています。しかし、こうした市教委の対応が現場段階  
でこの考えはすでに破綻していることを示していると言えます。



# 江戸三品川七で加ス

今年度に入社して都合が加えられ続いています。  
江戸三品川七で加ス。全都でよぶらりま〜